

❄️ Winter 2019 ❄️

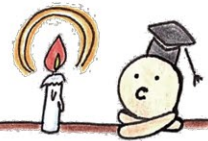


重要文化的景観選定に向けての取り組み

甲州市と山梨大学では、「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」を重要文化的景観として国に選定されるための取り組みを共同研究としておこなっています。「文化的景観」とは地域のひとがその土地特有の自然と関わり、生活や生業を営むなかで形成された景観です。

今回は、8月に開催した散策会の様子や、重要文化的景観選定に向けた取り組みの一部について紹介します♪

日本ワイン発祥の地「祝村」を巡る散策を開催しました！



明治12年（1879）に大日本山梨葡萄酒会社でワイン醸造を始めて今年で140年になったことを記念して、8月31日（土）に“日本ワイン発祥の地「祝村」を巡る”をテーマに現地散策会を開催しました。市内外から集まった約50名の方々にご参加いただきました。

ぶどうの国文化館から出発し、和風建築が特徴的な勝沼醸造、くらむぼんワイン、ワイン産業の黎明期を伝える近代産業遺産宮光園、ブドウとワインに関する資料を豊富に揃えている勝沼図書館などを巡りながら、全行程約6kmの道のりを散策しました！

氷川神社・トロワ園では、高野正誠のひ孫である高野宮司から明治10年（1877）にワイン醸造技術習得のためフランス・トロワに留学をした高野正誠と土屋龍憲の足跡やブドウ栽培について教えていただきました。

また、甲州ブドウ発祥の地として伝わる「雨宮勘解由伝説」、「甲斐徳本の棚架伝説」を残す大ー葡萄園では、園主の雨宮さんのご厚意により園内の見学をさせていただきました。

高野正誠と土屋龍憲の2人の青年から始まった日本ワインの歴史が140年経った今も勝沼地域の広大なブドウ畑の中に息づいています。

文化的景観と歴史的特性？

文化的景観調査は、「自然」、「歴史」、「生活又は生業」の3つの観点から実施します。調査の観点②「歴史」は、「文献」、「地図・絵図」、「写真等」、その他の調査から、生活又は生業や土地利用の変遷等を明らかにし、それらを表し今に伝える文化的景観の歴史的特性を把握します。



勝沼醸造



氷川神社・トロワ園



近代産業遺産 宮光園

【散策コース全行程6km】

ぶどうの国文化館発⇒従是葡萄郷碑
⇒勝沼醸造⇒くらむぼんワイン
⇒氷川神社・トロワ園⇒大ー葡萄園
⇒宮光園⇒龍憲セラー⇒勝沼図書館
⇒ぶどうの国文化館着

甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会 設立！

11月11日(月)、甲州市文化的景観保存活用計画策定委員会が設立され、初会合が開かれました。

当日は、文化庁文化財第二課下間久美子主任調査官をはじめ、学識経験者、各種関係団体の代表者、行政関係者が集まり、勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査の成果報告や、国の重要文化的景観選定するまでの取り組みについて、議論が交わされました。



重要文化的景観に選定されるまでのプロセス

①地域の特徴をさがす(価値調査)

☆今年、調査報告書ができました

今ココ

②受け継ぎ方を地域のみんなで考える(計画づくり)

地域の魅力をみんなで共有する(普及啓発)

③市が国に申請

重要文化的景観選定！

甲州市立勝沼図書館 ぶどうとワインの資料展2019！

9月28日(土)～11月28日(木)、勝沼図書館において、「ぶどうとワインの資料展」が開催されました。この展覧会は、毎年テーマを設け、より多くの方々に「ぶどうとワイン」に親しんでいただき、その魅力を再発見していただくことを目的に開催しています。

今年は、「令和 受け継ぎ 受け継がれ 未来へつなぐ ブドウのカタチ ワインのカタチ」をテーマに、地元で活躍している方々へのインタビューや勝沼が育んできた歴史と文化を未来へ継承していくための取り組みなどが紹介され、見どころ満載の展示会でした!!



勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書もご紹介いただきました♪



今日の勝沼ワンポイント💡

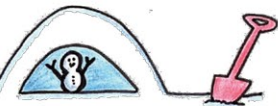
collection 6 鉄棒棚実験園(大一葡萄園)

明治12年(1879)、大一葡萄園当主であった雨宮作左衛門がブドウ棚を鉄棒で作る実験を行ったことから「鉄棒棚実験園」と呼ばれています。園内には、「元祖針金棚 大一葡萄園碑」が所在しています。

大正11年(1922)には、当時の東宮(のちの昭和天皇)がブドウ観覧に訪れました。



編集後記



澄み渡る夜空に瞬く星がいっそう美しい季節となりました。今年も残すところあとわずか…本紙をご覧いただいている皆さまにとって今年はどうな1年だったでしょうか？

皆さまがよい年を迎えられますようお祈り申し上げます。そして、来る年もどうかご愛読よろしくお願ひいたします！



かつぬま旬報 vol.7 Spring 2020は
3月1日発行予定です。

令和元年(2019)12月1日 発行

編集・発行：甲州市教育委員会文化財課

山梨県甲州市塩山上於曾 1085 番地 1

TEL: 0553-32-5076

FAX: 0553-32-5172

編集協力：山梨大学観光まちづくり研究室

イラスト：岩田美耶(山梨大学)

詳しくは

勝沼 文化的景観

